

メリットがたくさん！あなたも参加しませんか？

いわて中部ネット

参加を受け付けています！

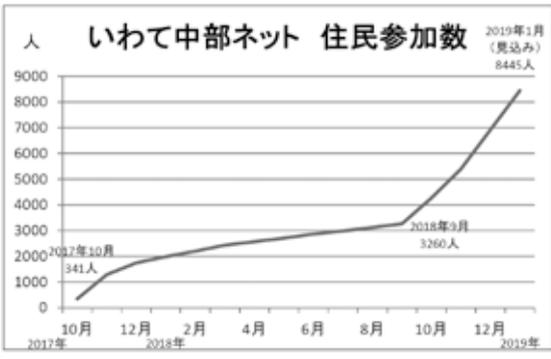
いわて中部ネットってなに？

29年10月にネットワークシステムの稼働をスタートしたいわて中部ネットは、地域全体で住民の健康を見守るために始まったシステムです。

岩手中部地域(北上市、花巻市、遠野市、西和賀町)の病院・クリニック、歯科、薬局、介護事業所などの施設間で、参加した人の医療情報や介護状況、「地域のカルテ」を共有。「地域のカルテ」を共有することで、参加者に、より安全で質の高いサービスを提供することができます。

参加するとどういったことが便利になるの？

医療機関を受診した際、正確に自分の病歴を伝えられる



かったことはありませんか？いわて中部ネットが管理する「地域のカルテ」を複数のかかりつけ医や介護施設などが共有するため、医療機関ごとに検査を受けることが不要になったり、緊急時などでも、スムーズに治療や介護を受けることができるようになります。



参加者の状況や申し込み方法は？

いわて中部ネットの参加者は昨年末で6500人を超えました。日々、多くの皆さんから申し込みをいただいています。参加料は無料で、申し込みは郵送、病院など各種参加施設窓口で受け付けています。また、岩手県立中部病院、北上済生会病院に受け付けブースを設置しています。広報紙と同時配付のパンフレット・ホームページをご覧ください。

■問い合わせ
 NPO法人岩手中部地域医療情報ネットワーク協議会事務局(花巻市大通り2-6-23)
 受付時間9:00~17:00(土・日曜日、祝日を除く) ☎0198-41-8289
 健康増進課 ☎72-8315
 ✉ info@chubunw.com
 URL <http://chubunw.com/>



電子メール



URL

■参加した皆さんの声

- 病歴がある人に
 - ・いろいろな科で診察を受けており、風邪などで個人病院にかかったときに病歴などを答えるのが大変なので、便利になると感じました(49歳・女性)
 - ・父の付き添いで病院に行くことが多いのですが、これまでのほかの病院での履歴をいわて中部ネットで管理してくれていると安心です(36歳・女性)
- 子どもにも安心
 - ・2歳の子どもがアレルギーを持っているので、参加しておくことで情報をすぐ確認してもらえるので安心だと思いました(38歳・男性)
- 緊急時にも安心
 - ・万が一のとき、救急車で搬送された病院で情報を見てもらえると対応がスムーズだと思います。一人暮らしの人は特に参加した方がいいと感じました(75歳・女性)
 - ・先日、妻が救急車で運ばれました。本人も私も不安で、いわて中部ネットのような情報共有システムがあった方が安心だなと感じました(64歳・男性)

説明会を開催します

いわて中部ネットの説明会を開催します。申し込みは不要です。ぜひお越しください。

▽とき：2月25日(月) ①午後1時~2時 ②午後7時~8時

※①②は同じ内容です。

▽ところ：さくらホール第一会議室

市の動き

北上市参加型緑化「みどりのまち育て」の参加事業所に証明書などを贈呈

市は、緑化によってまちを美しく、手入れの行き届いたものにしていくため、まちなみの景観に貢献する樹木植栽や生垣、鉢植えなどによる緑化活動を「みどりのまち育て」と名づけています。こうした取り組みを自主的に行う事業者の皆さんを募集し、公表しています。

新規参加事業所

- ・ Cafe buona
- ・ ジョーンズ
- ・ KOTO
- ・ CAFE WILLOWS
- ・ ハックルベリー

※継続参加事業所は、市



のホームページ(<http://www.city.kitakami.iwate.jp/docs/2014062302956/>)に掲載しています。

友好都市石垣市と職員交流 まちづくり部スポーツ推進課の瀬戸主査を派遣

市は、28年9月に締結した協定に基づき、友好都市である沖縄県石垣市と毎年職員交流を行っています。3年目となる今回は、同課の瀬戸紘主査を16日から2月15日まで派遣します。今年も友好都市提携を結び5年目の節目。派遣期間中は、友好都市提携5周年記念事業や、石垣島マラソン、観光振興などの業務に従事します。



職員交流に向けて高橋敏彦市長に決意を伝える瀬戸主査

市内の避難者状況(みなし仮設住宅入居者) (12月31日現在)

県市町村	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市	陸前高田市	宮城県	合計
世帯	3(0)	12(0)	8(0)	2(0)	3(-1)	1(0)	29(-1)
人数	5(0)	17(-1)	18(0)	4(0)	4(-1)	1(0)	49(-2)

※()は9月比。市で把握している人数です。

※広域避難者の住宅再建が進んでいることや、みなし仮設入居者や転入被災者などの変動も小さくなっていることから、四半期ごとの掲載としています。

躍進する北上っ子



育て」の行動を起こすことによって、地域への誇りを培うとともに、地域の未来を担う心構えと己の役割に目覚めたのである。同時にまちづくりにおける高校生の存在を強く我々に印象付けた。

平成30年市勢10大ニュースでは、東芝メモリ着工がトップに取り上げられ、市民の注目度がうかがわれた。うれしかったのは小中高生の活躍が取り上げられたことだ。黒沢尻工業高校ラグビー部、専修大学北上高校女子サッカー部、北上翔南高校鬼剣舞部、上野中学校・北上北中学校吹奏楽部、黒沢尻北小学校の合唱など、枚挙にいとまがない。

注目すべき児童生徒の躍進は他にもある。黒沢尻北高校では4年前から始めたまちづくり活動「きたかみ世界塾」を経験した生徒たちの学力が飛躍的に伸び、県内トップに並ぶ過去最高の大学進学状況に至ったことである。「きたかみ世界塾」にはメンターとして多くの市職員も協力し、生徒たちが地域を知り、「まち

中学生の英語力も特筆できる。市は、数年前から「英語でキャンプ」などのイベントの実施や、英語の実践力を身につけるための教員であるALITを増強したほか、英検3級の受験料全額を助成している。他自治体に先んじた制度で、英語力の強化を通して学力全体を押し上げようという戦略である。現在、その効果が顕著に現れており、中学校卒業時における英検3級以上の英語力のある生徒の割合が急増し、全国平均を上回ると共に、県内でもトップクラスになっていく。今後、更なる躍進を期待したい。

まちづくりは人づくりである。歴史は先駆的な人材育成が市の繁栄を支えている事を証明している。元気に頑張る子どもたちがいる限り、市はこれからも繁栄し続けるだろう。これからも市をあげてしっかりと応援していきたい。